

バイオサイエンス学科 学会発表

【発表者について】アンダーラインは本学教員、研究員および技術職員、○は発表者、※は大学院生、卒研究生または卒業生

学会名	第17回 植物細胞周期合同セミナー
演題名	ANAC 転写因子は傷害部の癒合における二次的な形成層の形成に関わる
発表者	○松岡啓太[1]、松倉有輝[1]※、川尻佳樹[1]※、佐藤忍[2]、朝比奈雅志[1]（植物生理学研究室） [1]；帝京大・理工・バイオ、[2]；筑波大・生命環境
内容	切断されたシロイヌナズナ花茎の組織癒合過程に見られる維管束組織の再生に対するNAC型転写因子の機能について報告した。発表では、植物特有の転写因子であるNAC遺伝子の一種が維管束組織の再生にどのように関与しているかについて、多くの研究者と議論が交わされた。 本研究は、私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「植物オキシリピンの生理機能の解明とその応用」、科学研究費補助金「切断組織の再生を制御する植物ホルモンと遺伝子の時空間的制御」による支援を受けて行ったものである。なお、2018年度植物細胞周期合同セミナーは、本学植物生理学研究室が幹事となり、栃木県内で開催される予定である。